

GLADへの登録時にご準備いただくメタデータ

1. インベントリ分析実施時に採用した手法などを選択肢より選択していただきます。①データの構造、②LCIモデリング方法、③代表性、③配分方法、④平均化の方法、⑤レビュー状況、⑥廃棄段階や資本財の取り扱い方法など15項目。
2. データの説明を記入いただきます。データ名、データのカテゴリ、データの時間的有効範囲、説明、技術、UNSPSCコード、データ著作者(10項目の記述)。

例：現在GLADに掲載されているセメント協会様のメタデータのデータ説明部分

blast furnace slag cement (type B)

Category: Structures and Building and Construction and Manufacturing Components and Supplies/Concrete and cement and plaster/Cement and lime/Cement Location: JP
Reference year: 2017 - 2018

Description

This unit process represents the production/service of 1kg of portland cement conformant to JIS R 5211 in Japan. Data collection is done by Japan Cement Association which covers all JIS R 5211 (Type B) portland cement production companies in Japan.
The system boundary of this process is "mining of natural resources (e.g. limestone) -> transport of raw materials -> clinker manufacturing-> cement manufacturing".
FY 2017 Production Amount: 10,816 kton.

Technology

The general production method in Japan in FY 2017 (1st April 2017 to 31st March 2018) is assumed. For details of cement production method see http://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/jj3h_02.pdf

(上記の元の日本語文)

高炉スラグセメント(タイプB)

カテゴリ: 構造物、建築、建設、製造コンポーネント、消耗品/コンクリート、セメント、石膏/セメント、石灰/セメント

地域: JP 基準年: 2017-2018

説明

このユニットプロセスは、日本でのJIS R 5211に準拠した1 kgのポルトランドセメントの製造/サービスを表しています。
データ収集は、日本のすべてのJIS R 5211(タイプB)ポルトランドセメント製造会社を対象とする日本セメント協会によって行われます。このプロセスのシステム境界は、「天然資源(石灰石など)の採掘->原材料の輸送->クリンカー製造->セメント製造」です。

2017年度の生産量: 10,816 kton.

技術

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)の日本での一般的な生産方法を想定しています。セメント製造方法の詳細については、下記を参照してください。http://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/jj3h_02.pdf